

医療用品 04 整形用品
管理医療機器 歯科根管用ポスト成形品 JMDN 38609000
歯科用充填・修復材補助器具 JMDN 38782000

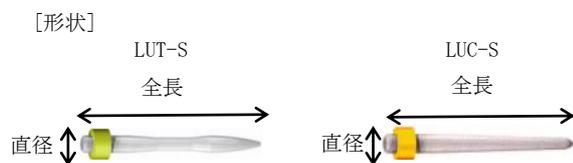
デンタータス ツインルーセントアンカー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 本品に対して過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
2. 下記の患者には適用しないこと。
 - (1) 本品が直線的に装着できない患者
 - (2) 残存歯質の全周において、フェルール（歯冠部残存歯質）の高さ1mm未満、厚さ1mm未満の患者
3. 再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】



タイプ	直径 (mm)	全長 (mm)	マーカーリング色
LUT-XS	1.26	16.7	白
LUT-S	1.40	16.7	黄
LUT-M	1.54	16.7	赤
LUT-L	1.68	16.7	青
LUC-XXXS	1.00	15.0	紫
LUC-XXS	1.15	15.0	緑
LUC-XS	1.30	15.0	白
LUC-S	1.45	15.0	黄
LUC-M	1.60	17.0	赤
LUC-L	1.75	19.0	青

【材質】

ガラス繊維

【原理】

形成後の根管内に、本品と歯科用支台築造材料を共に挿入することにより、根管壁に接着する物理的強度の優れた支柱が埋め込まれる。

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物等の維持又は補強

【使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照すること。

【使用方法】

1. 築造窩洞の形成
 - (1) 通法に従って根管充填した後、ポストの径を決定するため、X線写真等で適切な「デンタータス リーマ」(認証番号：224AIBZX00048000)を選択する。
 - (2) 適切な根管充填部（根尖から5mm以上）を残し、リーマを用いて根管拡大する。

- (3) 根管形成用ドリル等を用いて築造窩洞を形成する。その際、残存歯質の全周において、フェルール（歯冠部残存歯質）の高さ1～2mm以上、厚さ1mm以上を確保する。また、フェルールは2/3以上が望ましい。
- (4) 築造窩洞を水洗し、エアドライした後、ペーパーポイント等で窩洞内を乾燥させる。

2. 本品の試適

- (1) 本品を目的の高さまで築造窩洞に挿入し、試適する。
- (2) 試適した本品を取り出し、必要に応じてダイヤモンドディスク等を用いて注水下で本品を切断し、長さを調整する。

3. 本品の表面処理

- (1) 本品をアルコール綿球等で清拭し、エアドライにより乾燥させる。
- (2) 本品及び根管内をエッチング処理し、その後ボンディング材を塗布する。

4. 本品の植立

通法に従い、接着性レジンセメント及び支台築造用コンポジットレジンを用いて、本品を植立する。

5. 支台築造・支台歯形成

通法に従い、支台築造用コンポジットレジンを用いて、支台築造、支台形成を行う。

【使用方法に関連する使用上の注意】

1. 本品は、ピンセット等で取り扱うこと。本品に手指等が接触した場合は、アルコール綿球等で清拭し、エアブローにより完全に乾燥させること。
2. 本品の長さ調整は、必ず植立前に行うこと。その際、ファイバーがほぐれるおそれがあるので、はさみ、円盤状のカーボランダム等は使用しないこと。
3. 本品を削って形状を変えないこと。
4. 本品をサンドブラスト処理しないこと。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

1. 本品に対して過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
2. 本品の使用により過敏症が現れた患者には、使用を中止し、直ちに医師に相談すること。
3. 下記の患者には適用しないこと。
 - (1) 本品が直線的に装着できない患者
 - (2) 残存歯質の全周において、フェルール（歯冠部残存歯質）の高さ1mm未満、厚さ1mm未満の患者
4. 本品を使用する際は、ラバーダム等の防湿処理を行うこと。
5. 本品を誤飲させないように注意すること。
6. 光照射を行う場合は保護眼鏡等を使用し、照射光を直視しないこと。
7. 感染防止のため、再使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

高温多湿、直射日光を避けて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 東京歯科産業株式会社
電話番号 03-3831-0176(代)
製造業者 Dentatus AB(デンタータス)
国名 スウェーデン

取扱説明書等を必ずご参照ください。